

安定ヨウ素剤も備蓄



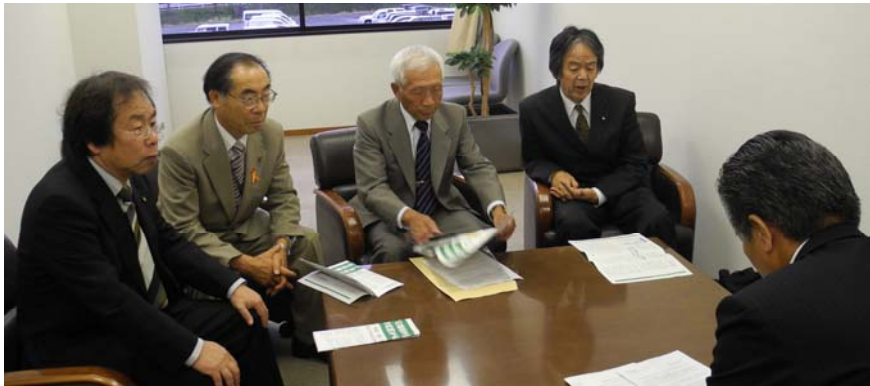
◆各給食センターに設置される放射線測定器は、食品中の放射性セシウムの測定が可能な「簡易スペクトロメータ」(一台約250万円)

甲賀市は、学校給食食
材の放射線量を測定す
る機器を3台購入、市
食を実施している18
ケ園に簡易の放射線測
定器を配置。また福井
県若狭湾周辺の原発群
で事故が起こった場合
の対策として、安定ヨ
ウ素剤(市内40歳未満
の人口×2錠)と防護
服セット(マスク、メ
ガネを含む)を200
0備蓄するために予算
計上し、12月議会に報
告、承認されました。

学校給食・食材の放射線量測定器3台購入

環太平洋経済連携協定

TPP 「参加反対」の一点での共同を



野田内閣がAPECを前にTPPに参加するた
め関係国との協議に入る
ことを表明したことに怒
りが広がっています。TP
Pは農業破壊だけでなく、
医療や労働分野にも影響
が広がるだけに、党派や立
場の違いをこえ「反対の
一点での共同」が広がって
います。日本共産党甲賀市議
団と農業委員は、JAこう
かを訪問し、共同を呼びか
けました(写真)。

12月議会では、中嶋市長
が「甲賀市の農業生産7品
目で40億円減少し壊滅的
打撃を受ける。経済的な問
題だけでなく、地域農業の
崩壊、集落の存亡にかかわ
る問題」との認識を示し、
福本農業委員会会長も「農

「地域農業の崩壊、集落の存亡にかかわる」：市長
「耕作放棄地増加、自給率50%と両立しない」：農委会長

議会の民主的運営を 3会派が共同で申入れ

清風クラブが数を力に議長・副議長などの
人事を強行した問題で、共産党・甲政ク
ラブ、正政会の3会派が共同で、議会の民
主的運営を申し入れました(11月4日)。

業離れを助長し、耕作放棄
地が増加することを危惧
する。食料自給率50%をめ
ざす計画とも両立しない
と、TPP反対の姿勢を示
しました。

2011年12月議会特集 (2011年11月29日~12月16日)

主な議案・意見書案	提案	賛成討論	反対討論	日本共産党	清風クラブ	甲政クラブ	正政会	公明党
暴力団排除条例の制定	市長提案	なし	なし	○	○	○	○	○
市民福祉活動センター条例の制定		なし	なし	○	○	○	○	○
景観条例の制定		なし	なし	○	○	○	○	○
職員給与を減額する条例改正		なし	安井直明	●	○	○	○	○
「日米地位協定」の見直しを求める請願	平和委員会	なし	なし	○	○	○	○	○
消費税の大増税に反対する請願	甲賀民主商工会	山岡光広	石川善太郎	○	●	○●	●	●
年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願	甲賀年金者組合	小西喜代次	鶴飼勲	○	●	○●	●	●
消費税に頼らない最低保障年金制度の創設を求める請願	甲賀年金者組合	安井直明	中島茂	○	●	●	●	●
無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3万3千円の支給を求める請願	甲賀年金者組合	安井直明	橋本律子	○	●	○●	●	●
暮らし・農業・地域を破壊するTPP参加に反対する意見書	山岡光広	なし	なし	○	○	○	●	○
「子ども・子育て新システム」を導入せず、現行の保育制度の維持・拡充を求める意見書	山岡光広	小西喜代次	田中新人	○	●	○	●	●
3種ワクチン助成の継続と国の制度化を求める意見書	山岡光広	なし	なし	○	○	○	○	○
沖縄県民の意思を踏みにじる日米両政府の基地押しつけに反対する意見書	小西喜代次	小松正人	服部治男	○	●	●	●	●
福井の原発群からの撤退を求める意見書	小西喜代次	山岡光広	服部治男	○	●	●	●	●
アメリカ産牛肉の輸入規制緩和の要求に反対する意見書	小松正人	なし	なし	○	○	○	○	○
県福祉医療費助成制度の継続を求める意見書	安井直明	なし	なし	○	○	○	○	○

12月議会には、5件の請願と7件の意見書、市長提
案30件、議員提案1件の議案が審議されました。主な
議案、請願、意見書に対する賛否を紹介します。

《注》 甲政クラブの「○●」は、「消費税の大増税に反対する請願」に賛成は葛原議員のみ、年金受給資格を10年とする請願と基礎年金国庫負担分33000円の支給を求める請願」に賛成は木村議員のみ。

日本共産党

甲賀市議団ニュース

2012年 1月1日 NO. 105



安井 直明
土山町前野 541
Tel. 67-0147
Fax 67-1660



小松 正人
水口町名坂 128
Tel. 62-9652
Fax 76-0150



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel. 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨
Tel. 83-0765
Fax 83-0765

山岡光広議員

◆くらしを破壊するT・P・P参加反対の一点での共同を、◆豪雨時の土砂堆積で機能喪失した風船ダムの修復、◆第5期介護保険事業計画、◆新年度の保育園・幼稚園の入所希望、県立養護学校のマンモス化解消と医療ケアが必要な子どもへの通学保障。



山岡光広（総務常任委員、環境対策特別委員会委員長、地域情報対策特別委員）

問 豪雨時に土砂が「風船ダム」に堆積し機能喪失する状況が相次ぎ、人力では復旧できない場合がある。対策を。
産業経済部長 一定規模以上の場合に市単独土地改良事業により土砂撤去費用の一部を補助することを検討。
問 介護保険料の値上げ抑制・引き下げのために「財政安定化基金」の取り崩しを。特養の入所待機者解消を。
健康福祉部長 基金から3720万円返還があり、全額介護保険料軽減のために充当する。特養は来年4月に百床開設予定だが、待機者は解消されない。
問 市立貴生川保育園・幼稚園の閉園に伴い、保育園・幼稚園の入所希望に変化はあるか。
教育部長 申込者は2322人。前年より増えた園は11園。10人以上増えた園は、柏木・水口北・水口西・甲南北・甲賀西の5園。

小西喜代次議員

◆福井原発への緊急対応の申し入れを求める、◆信楽高校分校化は一年延長ではなく白紙撤回を、◆信楽地域での公共交通の改善を、◆地域包括支援センターを生活圏域単位に設置を、◆台風の災害復旧対策を早急に。



小西喜代次（民生常任委員会副委員長、交通対策特別委員、地域情報対策特別委員、議会広報特別委員会副委員長）

問 信楽高校分校化は一年延長ではなく、白紙撤回を求めるべきではないか。
市長 単に撤回を求めるだけでなく、魅力あふれる学校づくりのチャンスとしたい。必要に応じて要望活動続ける。
問 信楽町の雲井地域と長野地域の直通バスの運行、帝産バス増便の取り組みはどうか。
総合政策部長 雲井駅で信楽高原鉄道への乗り換えをお願いしたい。帝産バスには人員増加のため、連携時刻表に帝産バス時刻表も掲載して、側面的支援で「沿線市」の役割を果たしている。
問 地域包括支援センターは、生活圏域単位（水口二カ所、旧町各一カ所）に設置を求める。
健康福祉部長 生活圏域単位の設置も含め、体制の充実に努める。
問 台風等の災害復旧対策を早急に。
建設部長 順次復旧を進めていく。

小松正人議員

◆貴生川幼稚園・保育園及び認定子ども園の入園第一希望から何が見えてくるのか、◆水口城の堀の一部復元と散策ができる周遊道の確保整備を、◆スポーツの森を市民に開放された利便性のある施設に、◆市民参加型でコミュニケーションバス路線の再編実現を。



小松正人（産業建設常任委員、交通対策特別委員会委員長、地域情報対策特別委員、公立甲賀病院組合議会議員）

問 閉園条例が可決後も「公立園を廃止しない」と、貴生川保護者の切実な声があがっているこの事態をどう考えるか。
教育長 認定子ども園と市が協定書を交わし、園児たちが一日も早く新しい環境に馴染んでもらえるよう努める。
問 水口城の堀の一部で埋め立てられた部分の復元ができないか。散策できる遊歩道の確保と整備を求める。
教育長 現在のところ、堀の復元、散策道の計画はない。
問 スポーツの森へ車ではなく、公共交通を利用して行く人は今後増える。コミバスを走らせる考えは。
建設部長 試合によっては、選手・観客が増える。必要性を調べる。
問 新甲賀病院への路線バスと巡回バスの計画はすすんでいるか。
総合政策部長 24年度中に検討する。

安井直明議員

◆平成24年度の予算編成方針を問う、◆保育園・幼稚園の園長等の身分について、◆小学校・中学校の就学補助の拡大を、◆地域市民センター開設から今日までの教訓と今後のあり方を問う。



安井直明（文教常任委員、議会改革特別委員、地域情報対策特別委員、議会運営委員会副委員長、甲賀広域行政組合議会議員）

問 24年度予算に耐震化の促進、自主防災組織の育成と補助の拡大、市の未利用地の有効活用、住宅リフォーム制度の増額、耐震化の促進や未利用地の整備し有効活用を、同和予算等の見直しを。未利用地の有効活用を図れ。
市長 耐震、自主防災はさらに促進、住宅リフォームは、喜ばれており前向きに検討する。
総務部理事 整備業務を委託発注中。
問 保幼の園長図書館長を課長級に。
教育長 課長級は、検討する。
問 修学旅行通学自転車補助復活を。
教育長 厳しい経済状況は認識しているが、復活しない。
問 地域市民センターの来所者数がゼロは疑問だ。取り組み姿勢が問われる。
総合政策部長 来所者数は集計ミスがあった、より良い地域市民センターへ努力する。

市民の切実な声を、現地調査やデータをもとに、市政の問題点と要求実現迫る